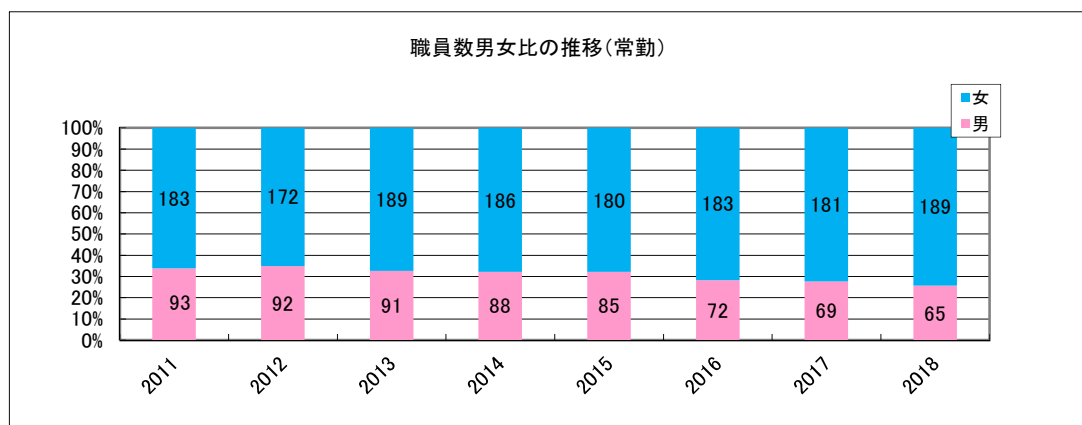


ロ) 職員男女比

【目的】

同姓看護・介護ケアを考慮した、人員配置・人員確保を目的としている。



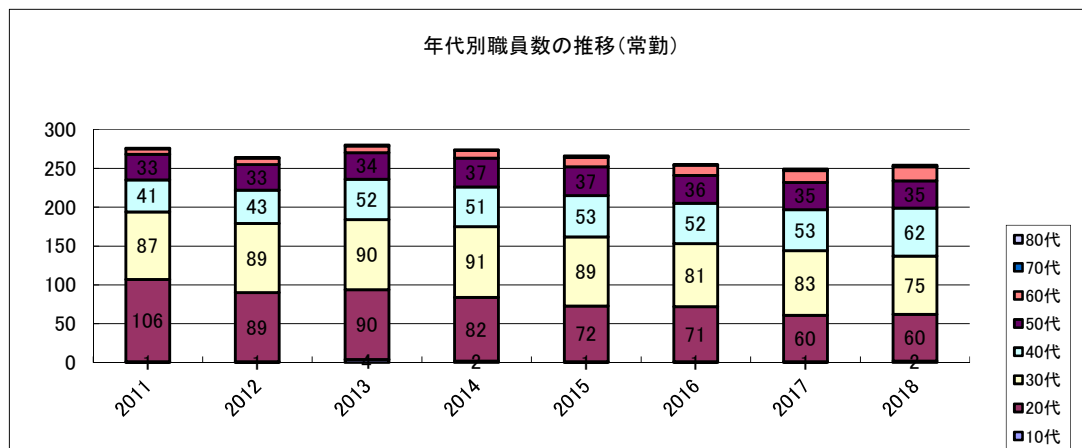
コメント

2011年男性職員は93名であったが、年々減少傾向であり、2018年では65名まで減少している。
女性職員数は、230前後であり、男性採用が少なくなっていることが考えられる。

ハ) 職員年齢構成

【目的】

適正な人員配置や人材確保を目的としている。



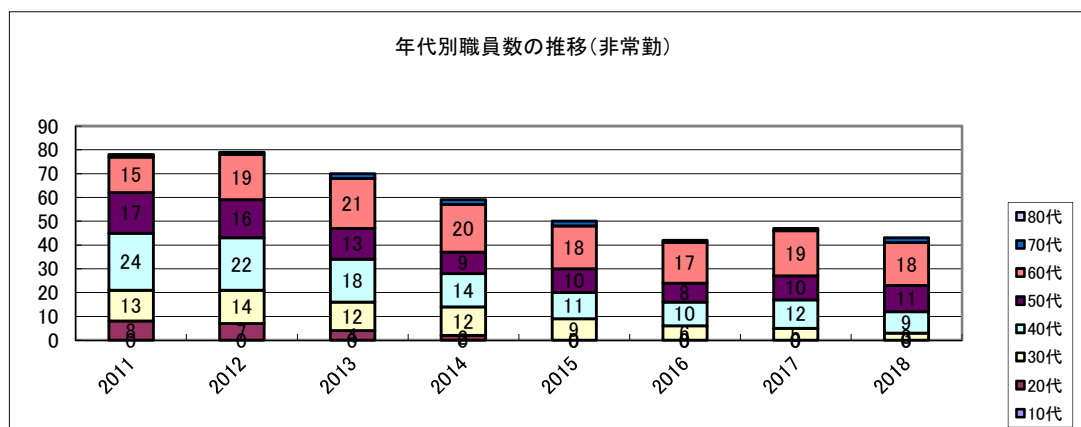
コメント

2011年、20歳代の職員数は106名であり、新病院へ移行して3年目で新規雇用採用を行っていた。2018年では20歳代は60名であることから、新規採用が少なくなっていることが考えられる。

二) 職員年齢構成(非常勤)

【目的】

適正な人員配置や人材確保を目的としている。



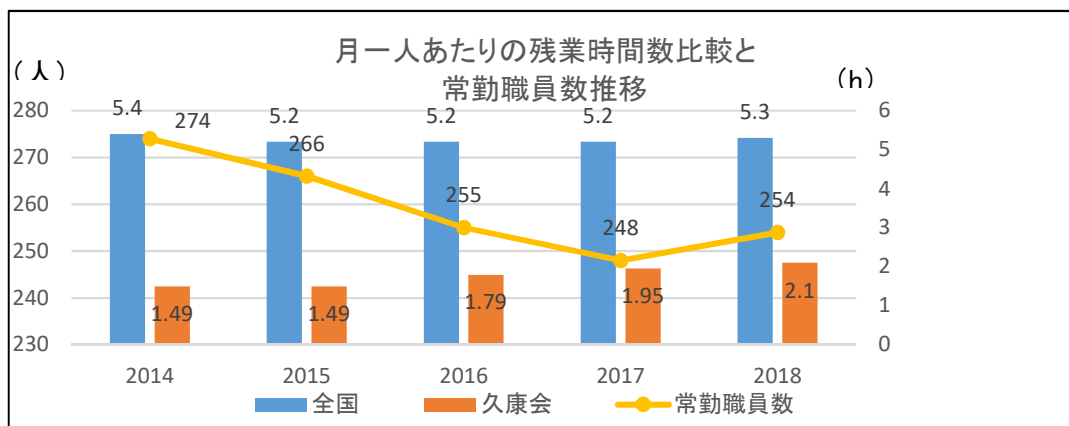
コメント

リネ、清掃業務職員が多くを占めているが、2013年に人員調整を行っており非常勤数は減少している。

ホ) 総残業時間

【目的】

法人全体や各部署ごとの時間外労働数を把握する事で、業務の偏りや改善点を見出すことを目的としている。



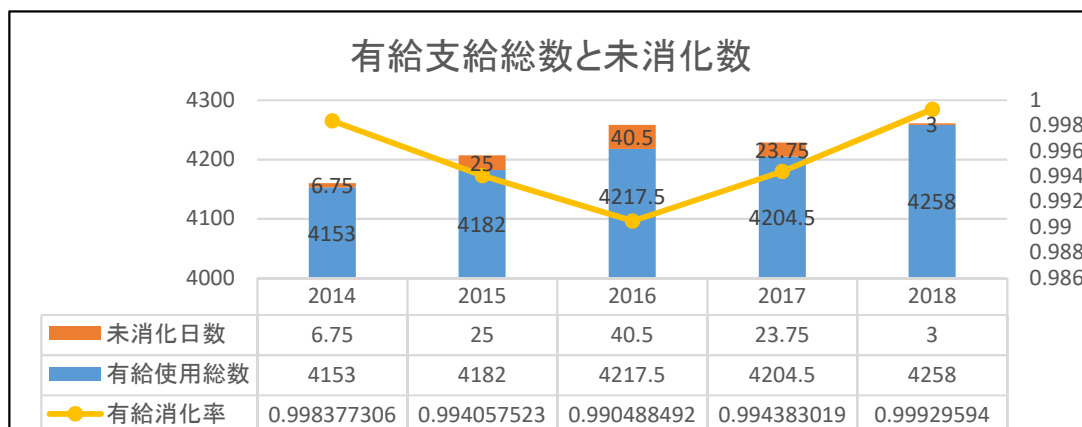
コメント

2014年1.49時間であるが、常勤数は274名であった。HCUや7対1一般病棟看護、DMAT活動など職員数が必要であった。2018年では約20名ほど常勤数は減少している。一人当たりの残業時間は、0.6時間の増加になるが、全国平均を下回っている。

へ) 有給休暇取得

【目的】

ワークライフバランスの一環として、有休を平等に、全てのキャストが使用することを目的としている。



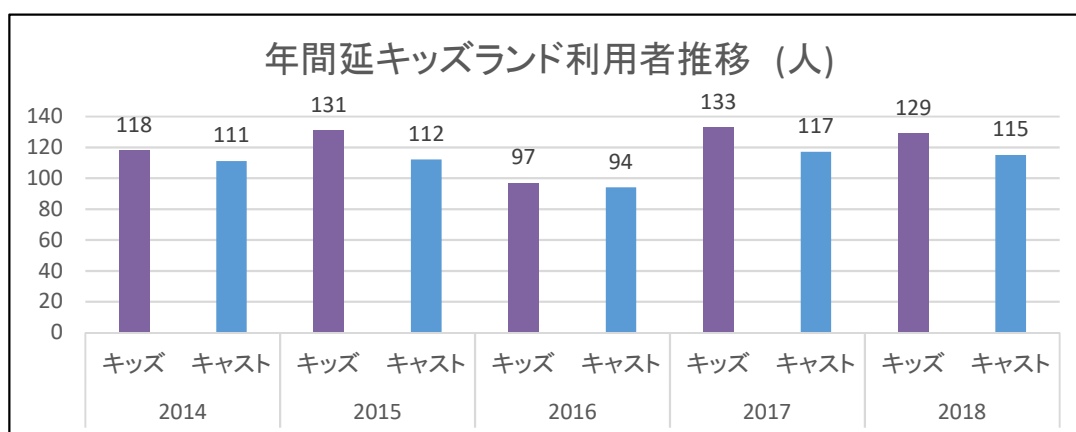
コメント

30年有給未消化数は、3日であり、99%の有給消化率となった。
職員が意識して有給消化に取り組んだ結果である。
今後も有給消化100%を目指していく。

ト) キッズランド利用者数

【目的】

当法人では、子育て支援として、育児休業後安心して働けるよう保育施設を開設している。



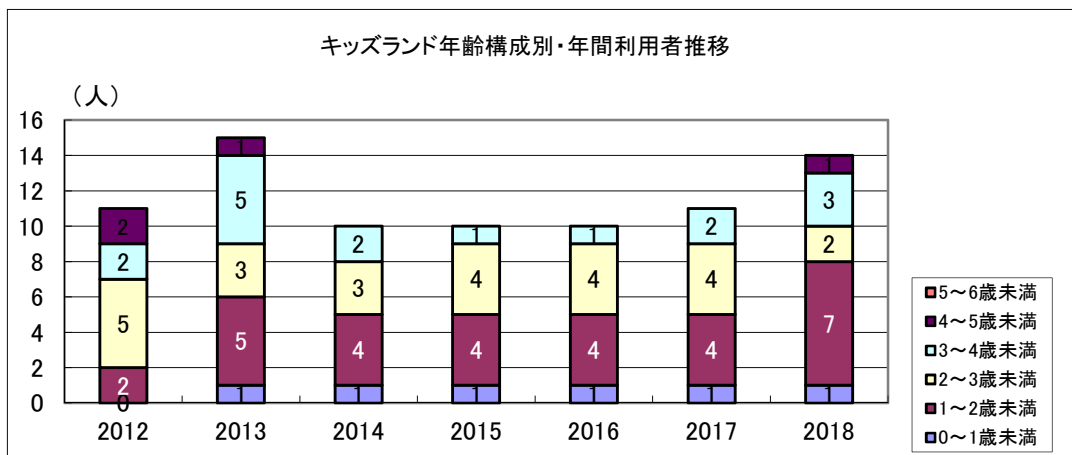
コメント

5年間変わらず、キッズランドの受け入れの数や職員利用数に変化はない。
2018年9月より、育児休業早期復帰制度を採用したことで、今後は、
キッズランドの利用が増えることが予想される。

チ) キッズランド[®]年齢構成別・年間利用者推移

【目的】

キッズの年齢層を把握する事で、キャストが安心して働ける
 保育環境を整えることを目的としている。



コメント

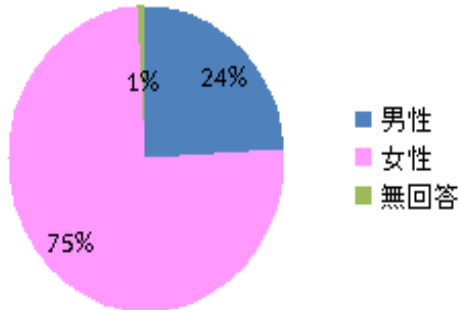
育児休業が終了するのが基本満1歳であり、キッズランド[®]の
 利用についても1歳~2歳未満の育児が利用することが多く
 なっている。保育園や幼稚園が決まるのが退園のタイミングである。

リ) キャスト満足度調査 事務長 高見 広樹

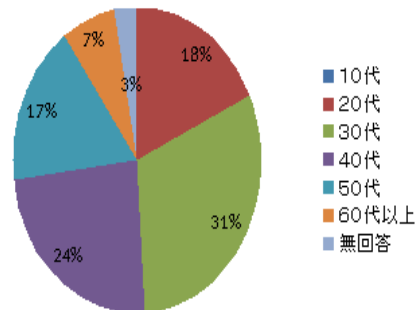
【目的】

当法人では、ワークライフバランスを推進している。
キャスト満足度向上の為。意識調査を行っている。

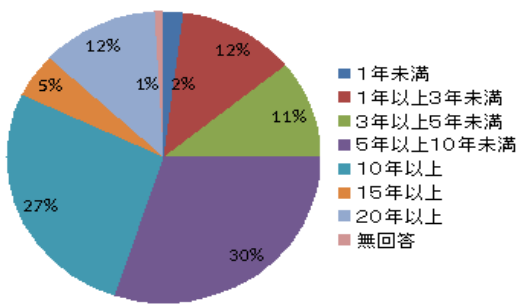
性別



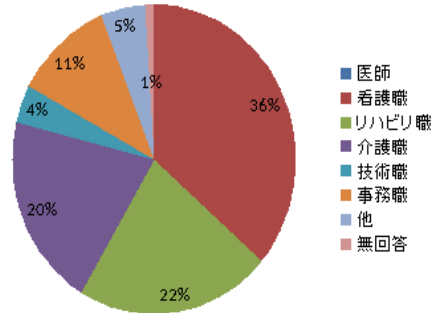
年齢



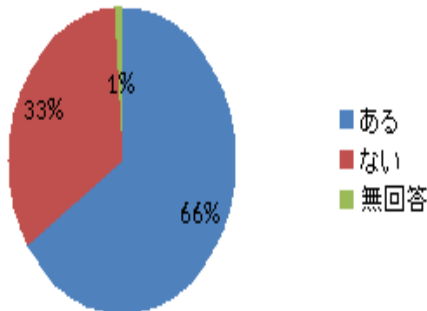
勤続年数



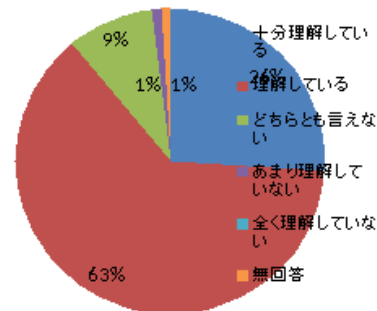
職種



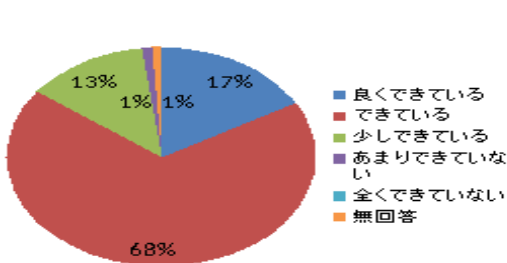
久康会以外に勤務した経験



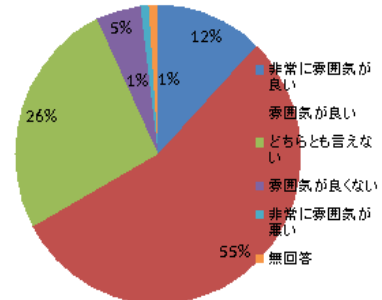
久康会の理念・宣言・心得を理解している



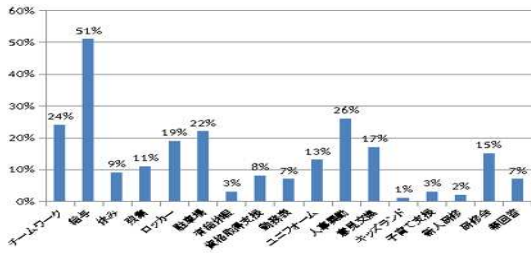
全ての人に笑顔と挨拶ができていますか



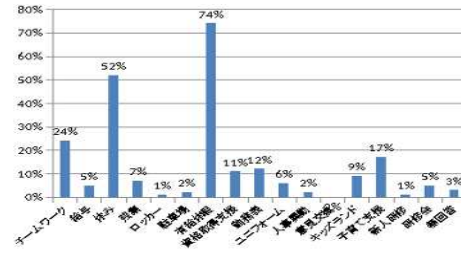
職場の雰囲気などいいと思いますか



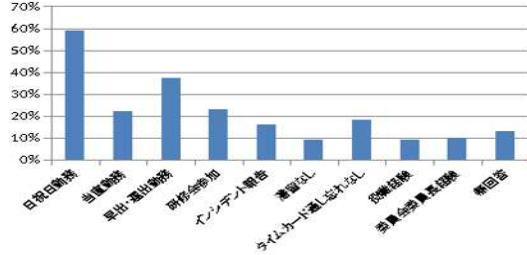
久康会の困っている事



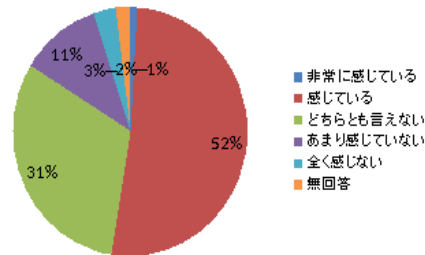
久康会のいいと思っている事



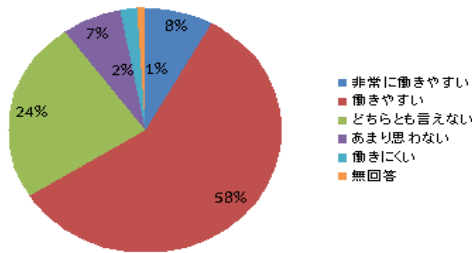
評価してほしい事



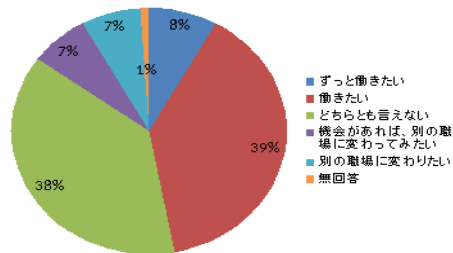
今の仕事に達成感や遣り甲斐を感じていますか



働きやすい職場ですか



これからも今の職場で働きたいですか



コメント

理念について約9割が理解している結果となった。
働きやすい職場作りを目指しており、30年度は約7割が働きやすい職場という結果であった。

例年2回、4月～9月を前期 10月～3月を後期としてキャスト満足度アンケートを実施しています。以下の13項目についてアンケートを実施し、13項目から得られたアンケート結果の平均を各項目平均満足度・アンケートの最終項目である、「あなたは、あなた自身が久康会で働くことに生きがいを感じていますか？」の問いから得られた結果を総括的質問指標満足度として、調査集計していきます。

アンケート項目

- あなたは、安全な医療をころがけていますか？
- あなたは、希望の医療をころがけていますか？
- あなたは、プライバシーを厳守していますか？
- あなたは、科学的根拠に基づく医療を守るようころがけていますか？
- あなたは、100%満足できる最高水準の医療をころがけていますか？
- あなたは、地域の健康を増進し禁煙をすすめていますか？
- あなたは、全ての人に笑顔とあいさつができていますか？
- あなたは、身の回りを美しく清潔にできていますか？
- あなたは、久康会の決められたルールを必ず守ることができていますか？
- あなたは、久康会の理念が好きですか？
- あなたは、久康会の理念を実践していますか？
- あなたは、あなたの周りのキャストが理念に向かって頑張っていると思いますか？
- あなたは、あなたが働くことを通じて生きがいを感じていますか？

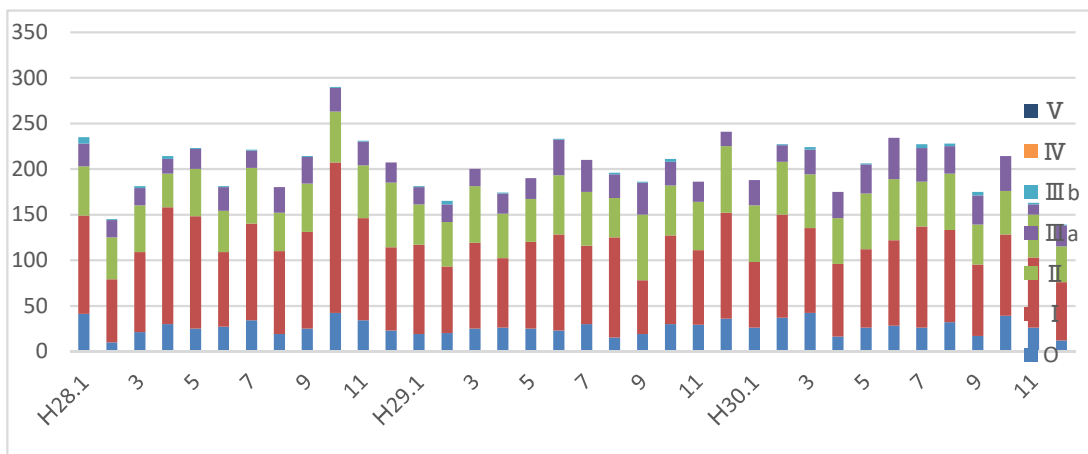
12. 安全管理部 安全管理者 科長 小川 真奈実

病院とは、病気になった方が治療や社会復帰を目指す施設であり、当然安全な場所でないといけないが、同時に感染症や、疾病により身体機能が低下してケガや我々のミスなどの危険もあるのは、社会のどの施設でも変わらないことから目をそらしてはなりません。そこで、私達は日常業務の中にある「ヒヤリ」とした事や「ハッ！」としたことを次に活かすために報告し、それを集計して業務の中に潜む危険を見出し除去する様、万一発生した場合には対策をすぐにとれる様対処・準備を行っています。

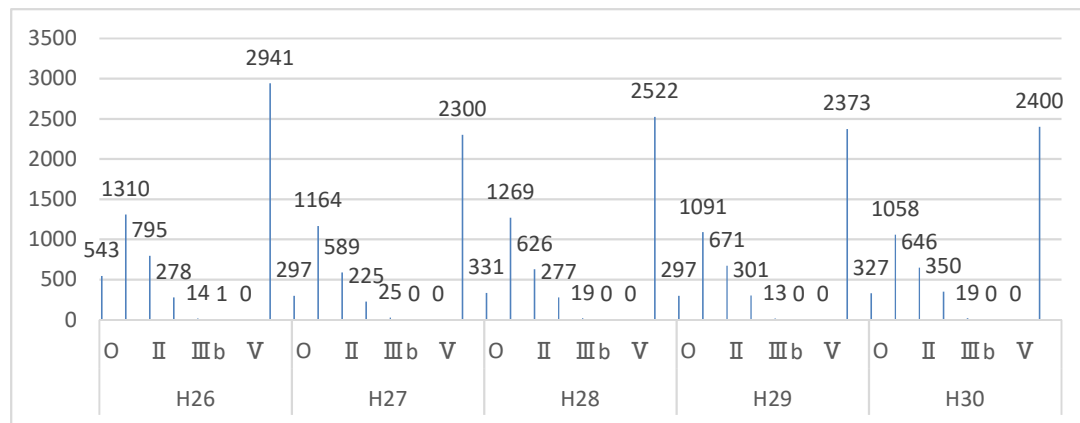
イ) インシデント・レベル別

【目的】

ハイリットの法則(1:29:300)を基に量的なヒヤリハットを分析・解析し割合を出すことにより重大なミス(医療事故)を防ぎ安全な医療現場として対策、対処を行う。



直近5年(インシデント レベル別)



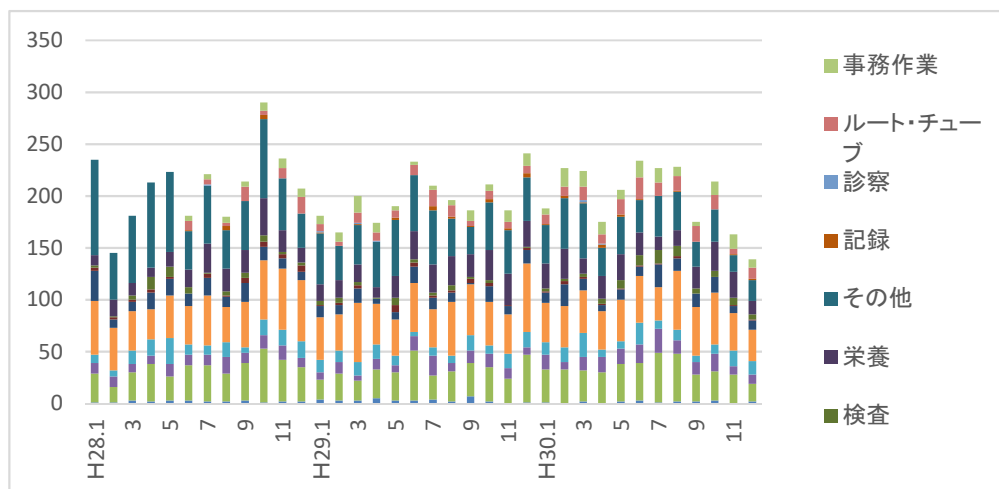
コメント

H.28年、H.29年と比較しても、大きな変化は見られていない。
 今後は、全体の割合だけではなく、どのような内容の報告が多く上がっているのかを、より詳しく分析し、ハイリットの法則に基づいて優先順位も付けつつ、具体的な対策が立てられるようにしていく必要がある。

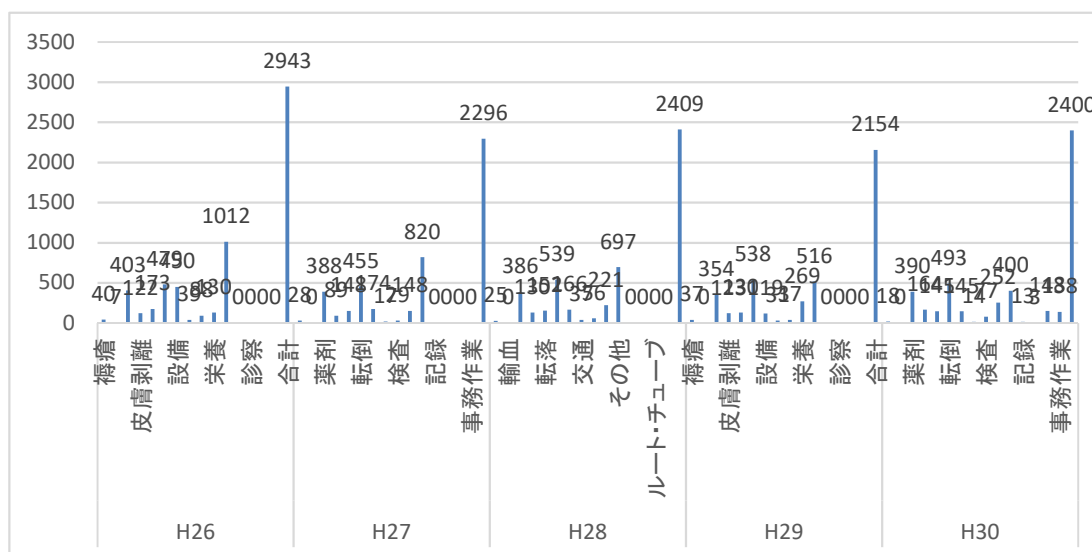
ロ) インシデント 種類別

【目的】

治療や社会復帰を目指す施設である、医療現場において日常業務の中にある「ヒヤリ」としたこと「ハッ」としたことを報告・集計することにより業務の中にある危険を見出し除去するよう、何の事故が多いか分析し対処を行う。



直近5年(インシデント種類別)



コメント

数年前より、その他に含まれる内容が多い事が問題としてあげられていた。H.28年6月より、インシデントレポート入力時に選択できる項目数を増やすシステムの改修を行った。また、H.30年より、レポート1件ずつ種類別分類を見直し修正をかけることで、より正確な情報が得られるようになってきている。例年、転倒・転落に関するインシデント、薬剤に関するインシデント報告が多い。対策を検討し、実施しているが、その対策が有効であるのか、評価するためにも種類別・レベル別に見たインシデントレポートの推移を追っていく。

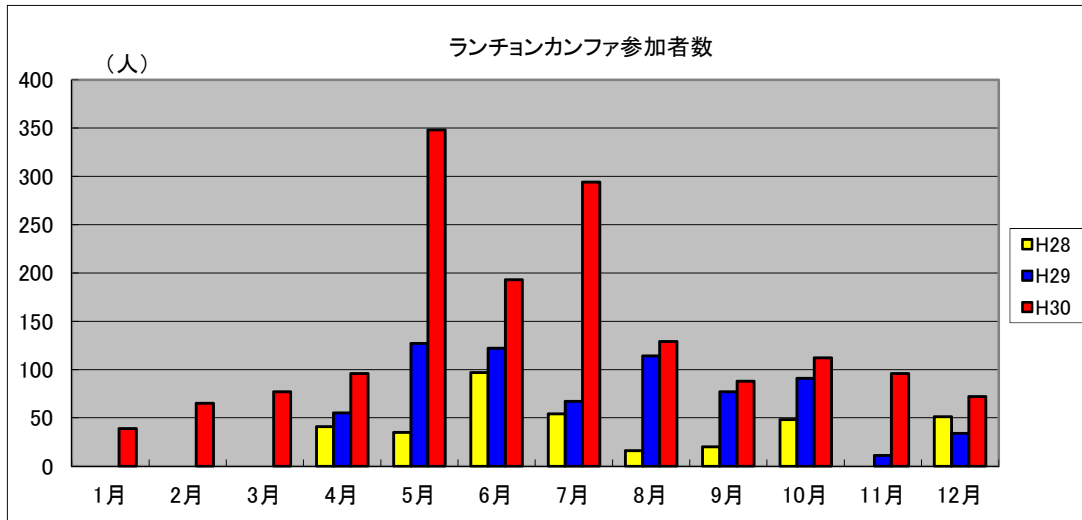
13. 教育指導科 イ) 診療勉強会参加者率 教育指導科 科長 菅谷 伸吾

医療はチームで行うものであり、又、24時間365日継続して、そのサービスは提供されなければなりません。サービスを常に一定水準以上のレベルをもって提供するの提供するのは「人」です。よって常にその人材を人財にすべく学び勉め、育むように指導支援しています。

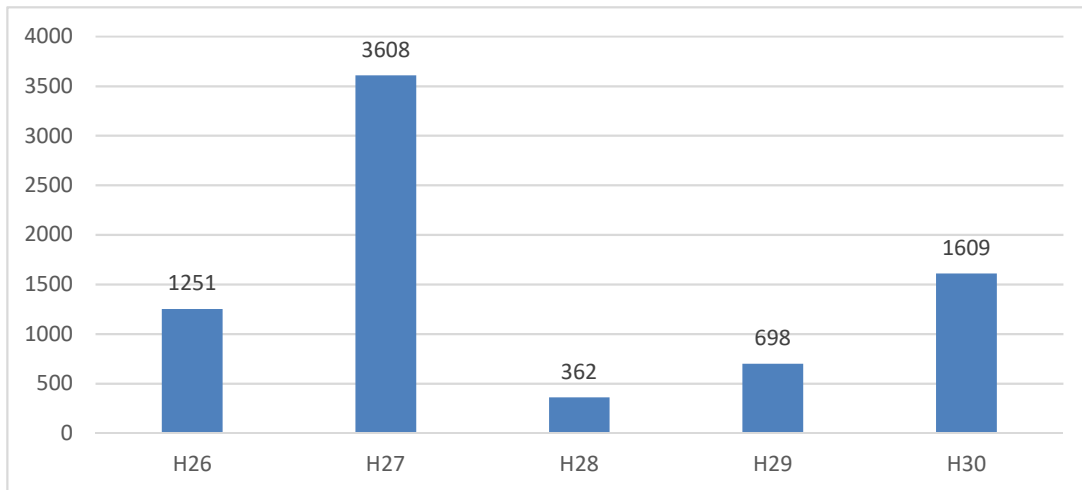
イ) 診療勉強会参加者率

【目的】

昼休みを有効活用し、自身の自己啓発につなげられているかを把握するため。



直近5年(ランチョンカンファ参加率)



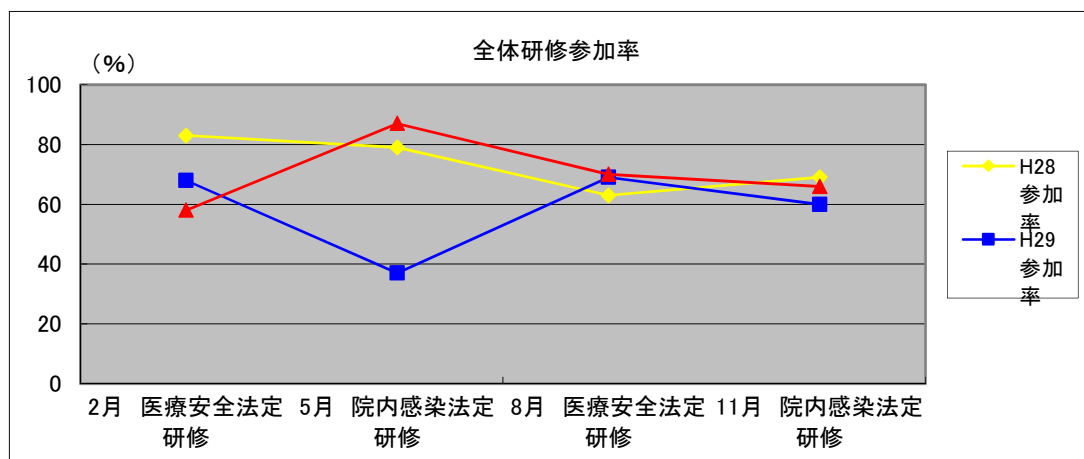
コメント

年間・月間スケジュールを活用し、月1回以上参加を目標として取り組んでるキャストが増え、確実に参加率は向上してきている。
より参加しやすく、興味を引く研修を実施して行く必要がある。

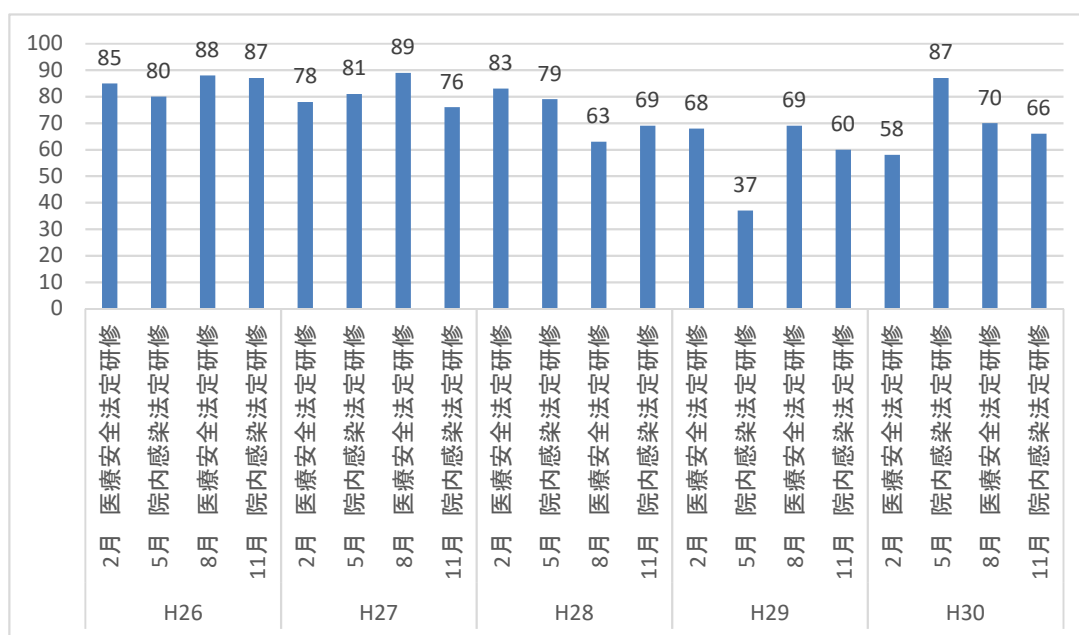
ロ) 全体研修参加率

【目的】

法廷研修で、参加率100%の必要があるため。



直近5年(全体研修)



コメント

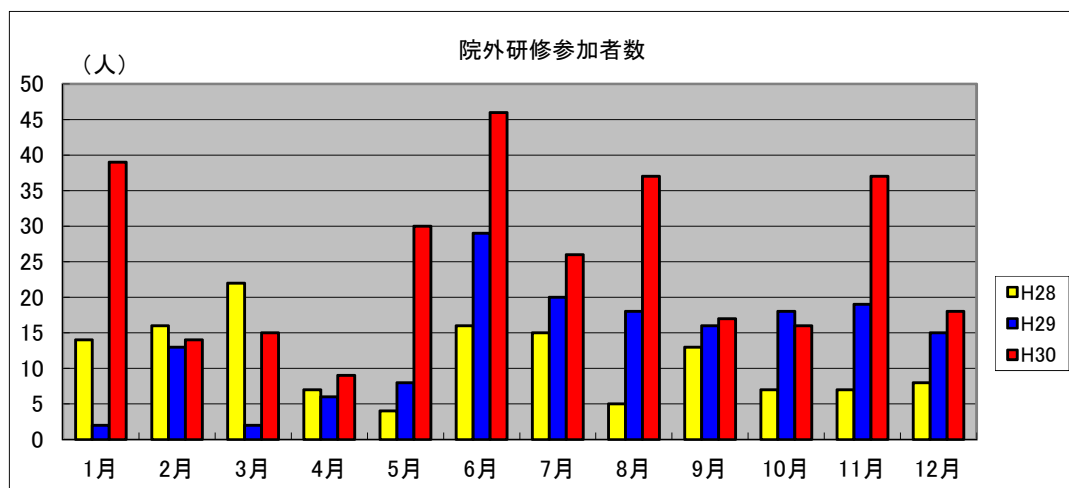
毎回、同じような内容での研修となるため、参加意識が低い。参加型の研修にしたり、研修内容を変えてはいるが結果が伴っていない。頻回に参加の声かけを行って行く必要がある。

院内感染・医療安全の全体研修を法定上、年に各2回ずつ実施する必要があり、また全職員が受講しなければなりません。ゲストやキャストの安全を守る為に、今後も研修を実施していきます。

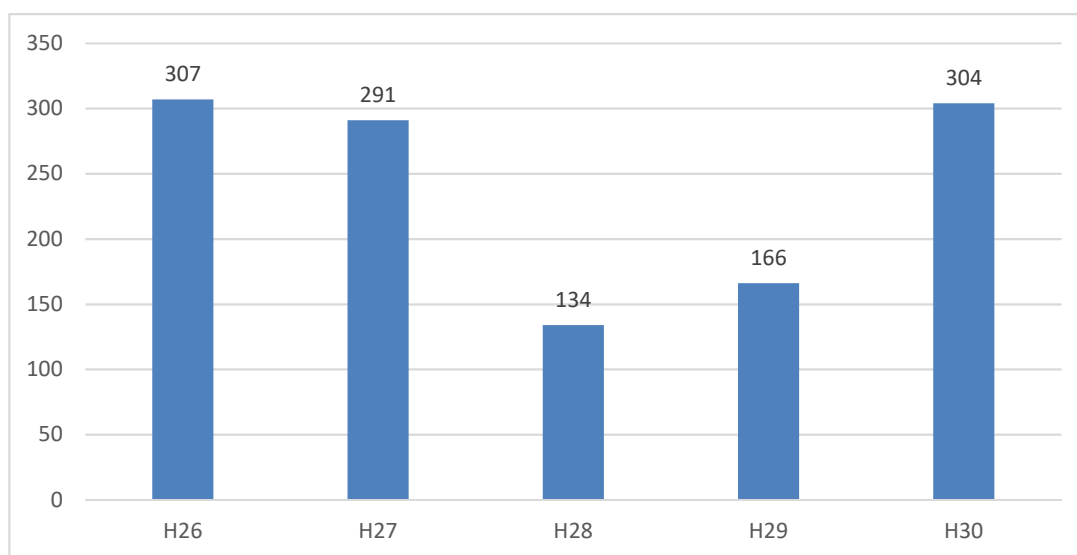
ハ) 院外研修

【目的】

キャスト自身がプライベートの時間を有効活用し、自己啓発に取り組んでいるかを把握するため



直近5年(院外研修)



コメント

院内グループにて院外研修の回覧を行い、継続して研修参加を呼び掛けていることで参加意識が向上してきている。
 自宅でのeラーニング研修を含めていないため、今後は自宅でのeラーニング研修を含めて院外研修として評価していく。

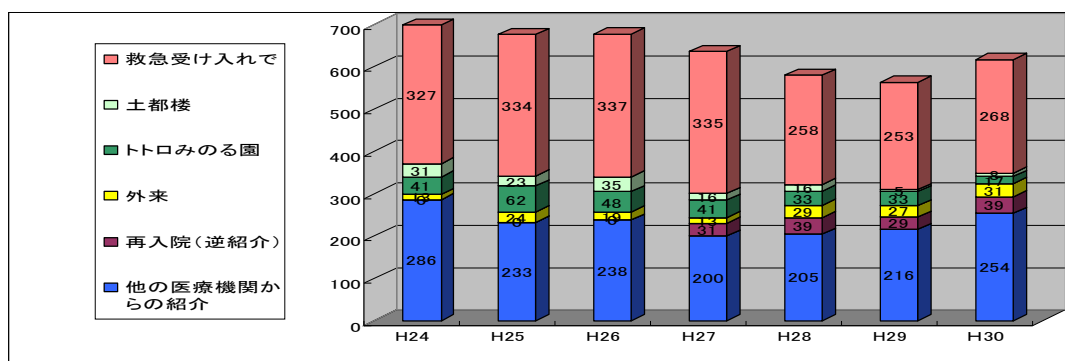
15. 地域連携部

地域連携部 部長 黒木 尚美

イ) 平成24年以降の入院数の推移

【目的】

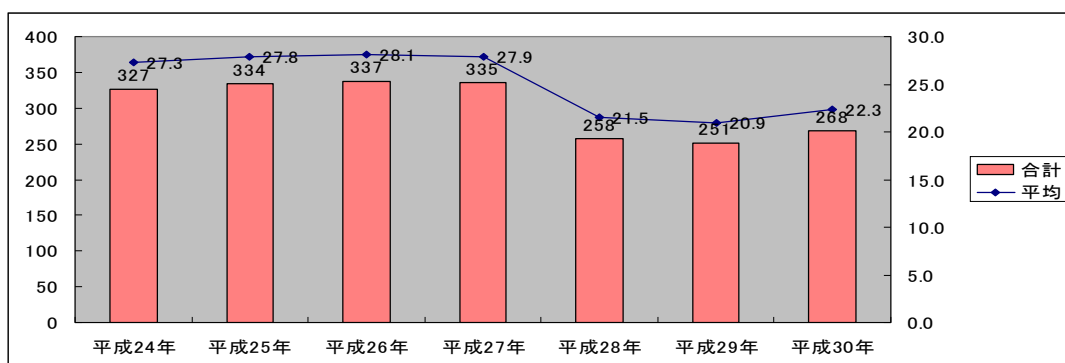
平田東九州病院の機能を地域の医療機関・施設に理解してもらい、紹介された方をスムーズに受け入れる
平成24年以降の当院への入院経緯(救急入院、紹介入院、再入院)を調査し動向を知る
当院関連施設からの入院、かかりつけ患者の入院推移についても調査し動向を知る



コメント

1月から12月までの入院合計、新規入院患者数を示したグラフ。入院の内訳を示している。救急受け入れは平成26年が最も多く、337名、他の医療機関からの紹介は平成24年が最も多く286名。再入院数については、平成27年以前については正確にデータを取ることができなかったため、他の医療機関からの紹介に含んでいる。他の医療機関からの紹介は平成27年が最も少なかったが、平成29年には218人(月平均18.2人)となった。平成30年は254人の紹介入院、再入院が39人で、平成24年当時の286人と同じほどの紹介・逆紹介入院となった。トロミのる園からの入院数は平成25年をピークに減少しており、経鼻栄養者の受け入れを行っていないことが影響しているものと考えられる

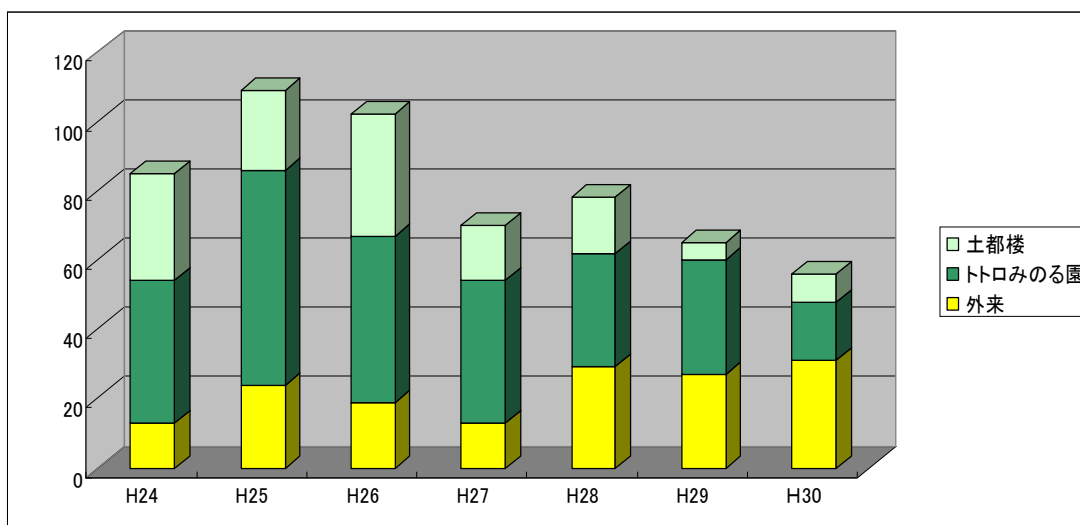
ロ) 救急入院・当日入院の推移



コメント

救急車ででの来院、当日の脳卒中輪番による脳卒中トリアージからの入院の推移。救急外来で対応し、入院にならなかったケースは除いている。平成24年から平成27年は年間に330人ほどの入院があった。(月平均人数は28人程度)平成28年は258人月平均21.5人、平成29年は251人 20.9人、平成30年は268人(平均22.3人)県立延岡病院の救急体制の変更により、平成28年以降は県立延岡病院の受け入れが増加した可能性はある。(県延救急医の増加)

ハ) 関係機関(外来・トロミのる園・土都楼)からの紹介入院の推移



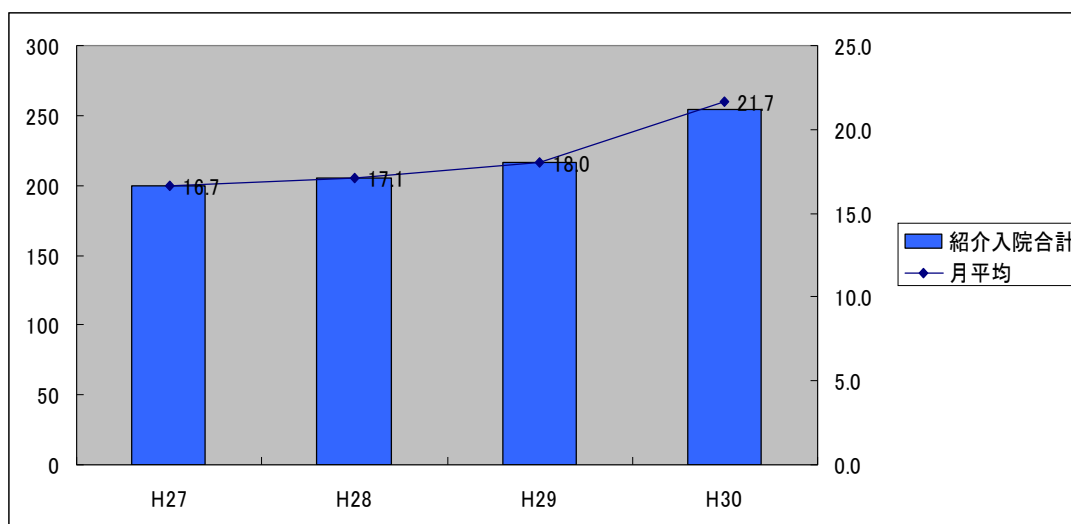
コメント

外来からの入院数は20名ほど。関連施設からの入院は平成25年、26年は80名を超えていたが、平成27年以降は50名ほどとなっている。

トロミのる園での入所受け入れとして経鼻経管栄養の方を制限したことで、全身状態の比較的安定した方が増えていることやトロミのる園での治療(短期的な医学的管理)ができるようになったことが影響している可能性がある。施設より直接専門医療機関への紹介が増えている可能性もある。

土都楼からの入院は減少している。医院の閉院によりかかりつけ医を他の医療機関に依頼していることが影響していると思われる。当院外来かかりつけの方が入院した年間の人数は平成28年以降は平均で30人ほどとなっている。(平成28年29人、平成29年27人、平成30年31人)

二) 医療機関からの紹介人数の推移

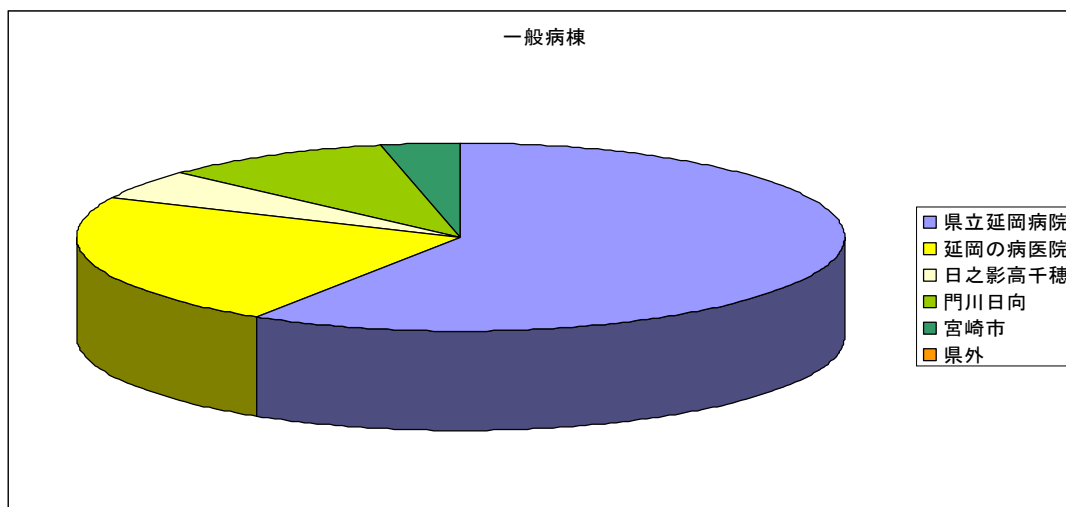


コメント

平成27年度以降は、再入院を除く紹介入院数を出している。平成27年は月当たり16.7人の紹介人数であったが、平成29年は18.2人となっている。

再入院を除く紹介人数についても平成30年はこれまでで最も多い平均21.7人となった。

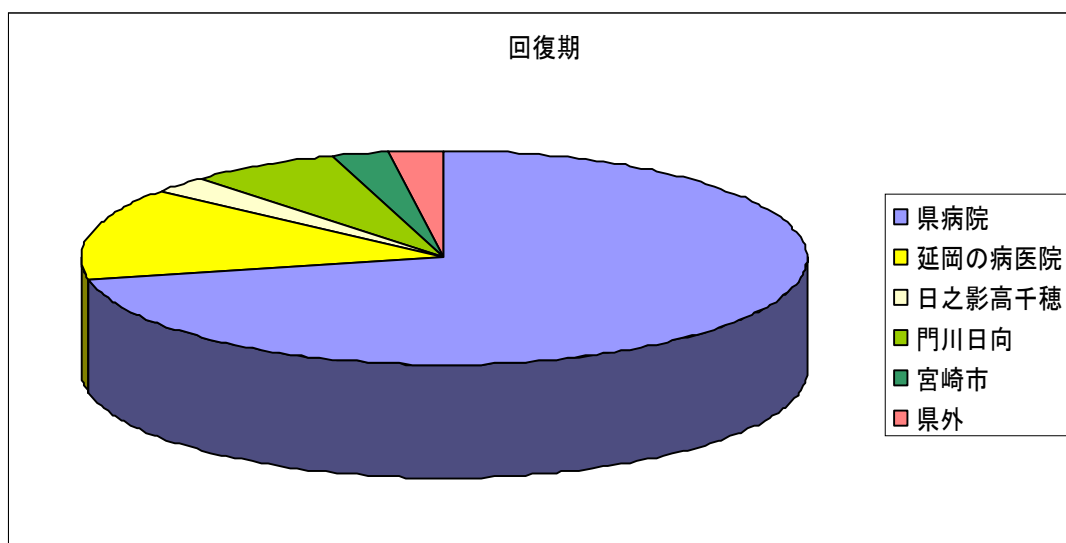
ホ) 一般病棟への紹介(医療機関・地域別)



コメント

平成29年の1年間における、一般病棟(地域包括含む)への紹介のうち、県立延岡病院は59%をしめている。そのほか、延岡の病医院、門川日向の病医院からの紹介が占める。

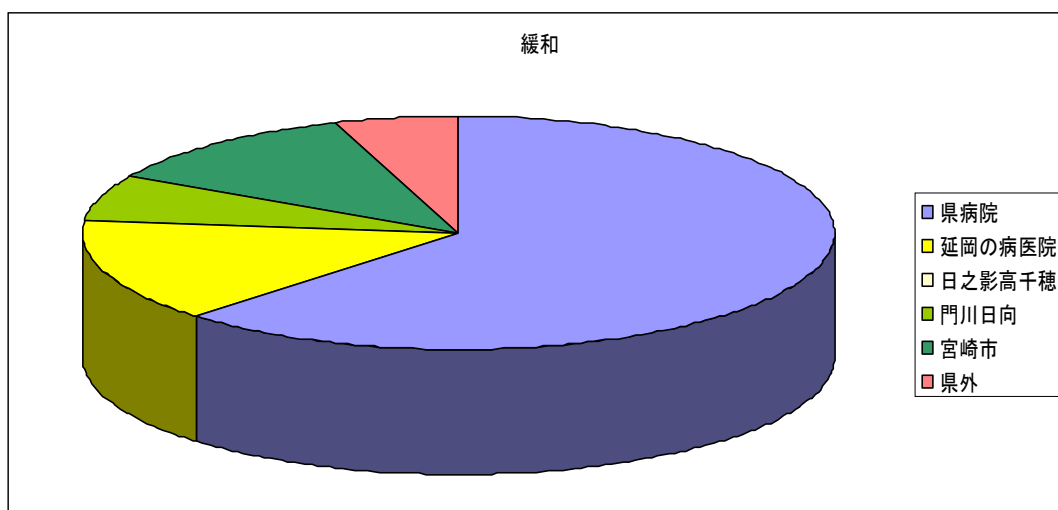
へ) 回復期リハ病棟への紹介(医療機関・地域別)



コメント

平成29年の回復期リハ病棟への紹介78人のうち、県立延岡病院より紹介があった人数は56人(71%を占める。)延岡の他の医療機関(病・医院)よりの紹介は11人(14%)県外は、大分整形外科、津山中央病院(岡山)で、いずれも、延岡在住の方が治療後に地元でリハビリ希望され紹介となった

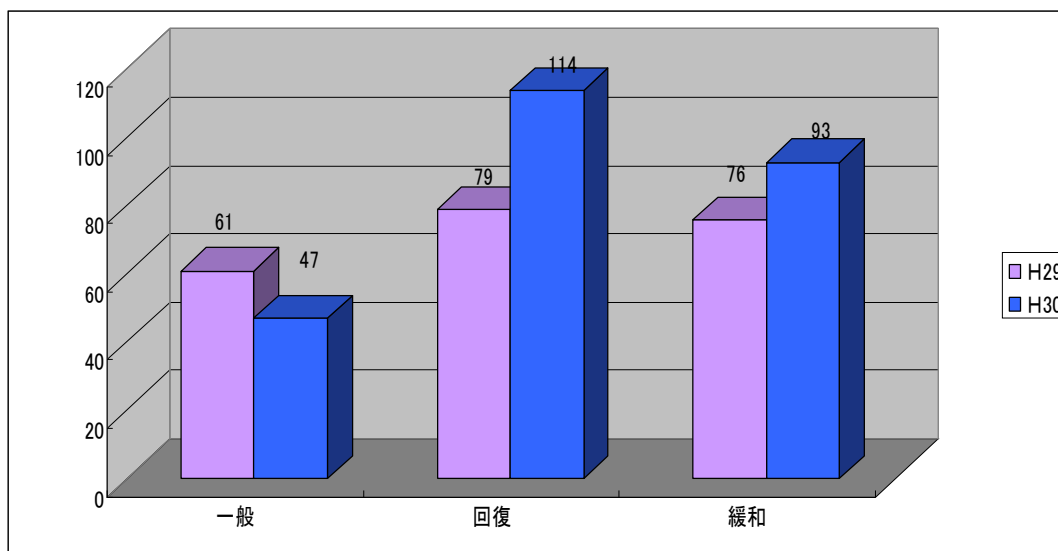
ト) 緩和ケア病棟への紹介(医療機関・地域別)



コメント

緩和ケア病棟へ平成29年の1年間に紹介があったのは77人。そのうち県立延岡病院より紹介は、48人(63%)延岡のその他の病, 医院より11人(14%)宮崎市の医療機関より9人(12%)、県外4人(5%)延岡在住の方が、がん治療のために、宮崎市、県外へ行かれているケースと、県外在住者が、がん治療後に親戚を頼って延岡に来られるケースがある。

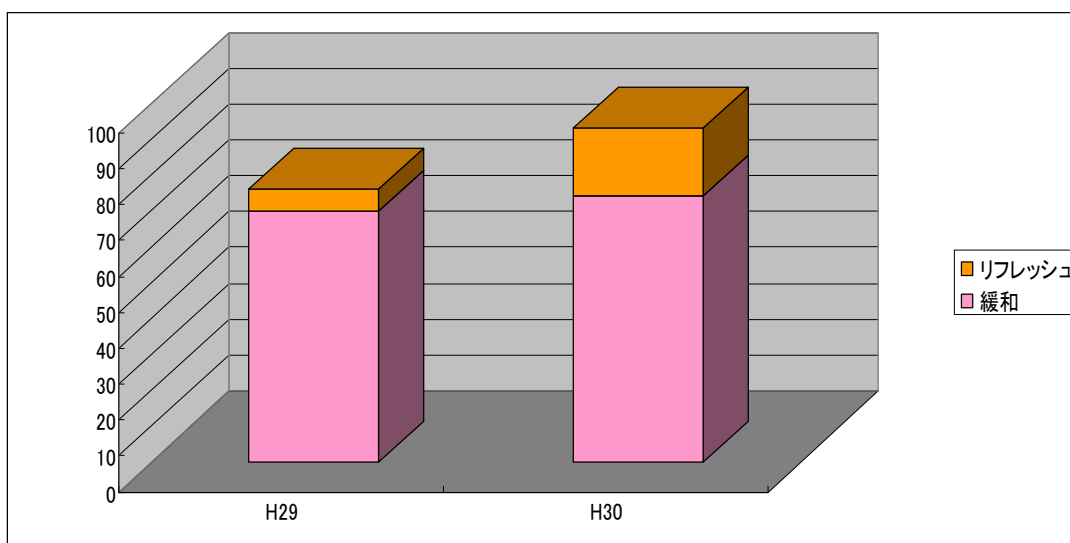
チ) 病棟別紹介人数



コメント

平成29年1月から12月の1年間と平成30年1月から12月の1年間に他の医療機関より紹介のあった人数を病棟別に比較した。
 一般病棟へは、平成29年に61名の紹介、平成30年に47名と減少しているが、回復期病棟へは、平成29年79名が平成30年114名、緩和ケア病棟へは、平成29年76名が平成30年93名と増加している。(回復期リハ病棟への紹介は直接回復期へと厚生局より指導があったことも影響していると思われる)

リ) 緩和ケア病棟リフレッシュ入院比較



コメント

平成30年より開始したリフレッシュ入院(施設より一時入院も含む、化学療法のあいだに入院を希望された方。リハビリテーション実施し自宅退院や施設退院となった方)入院時は、症状緩和であったが、経過が良好で、退院調整となった方も含んでいる。平成29年は6名(癌の手術後で、緩和ケア病棟で受け入れ後回復期病棟へ転棟した方2名を含む)平成30年19名。緩和ケア病棟でも毎日のリハビリテーションを必要な方には提供している。

コメント(まとめ)

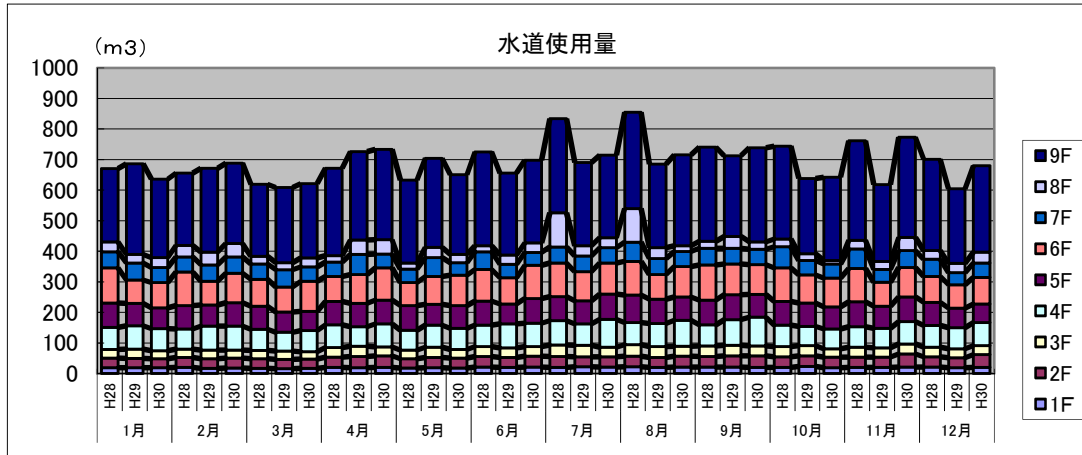
平成24年から平成27年は、年間600人以上の入院があった。
 平成24年以降年間新規入院数は減少していたが、平成30年は617人と増加している、救急・当日入院、紹介入院ともに平成24年と比較すると減少している。紹介は平成27年以降は、ほぼ横ばいであったが、平成30年は250人ほどと平成24年に次ぐ紹介数となった。
 紹介のうち、県立延岡病院が全体の65%をしめている。(一般59%、回復71%、緩和63%)
 緩和ケア病棟のリフレッシュ入院(リハビリ目的の入院)という言葉が、
 県立延岡病院の医師にも浸透してきた。

16. 施設環境 施設環境 主任 岩崎 幸子

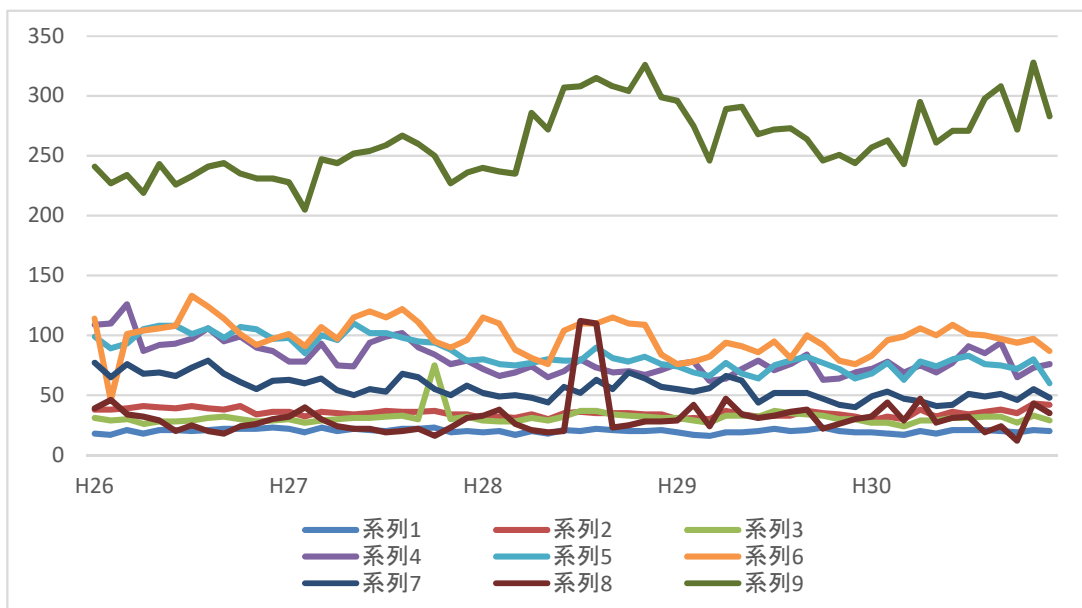
イ) 水道使用量

【目的】

省エネ対策



直近5年(水道使用量)

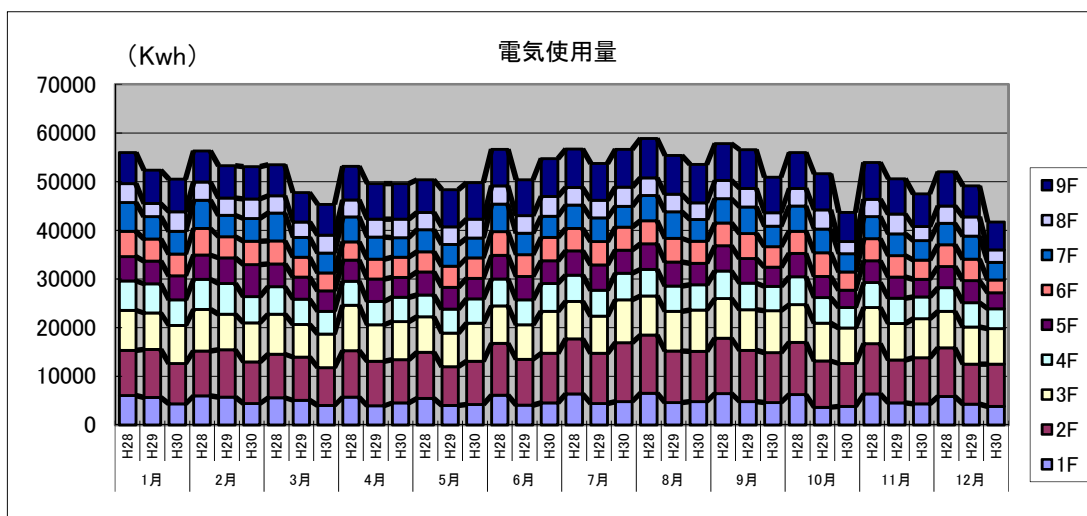


コメント

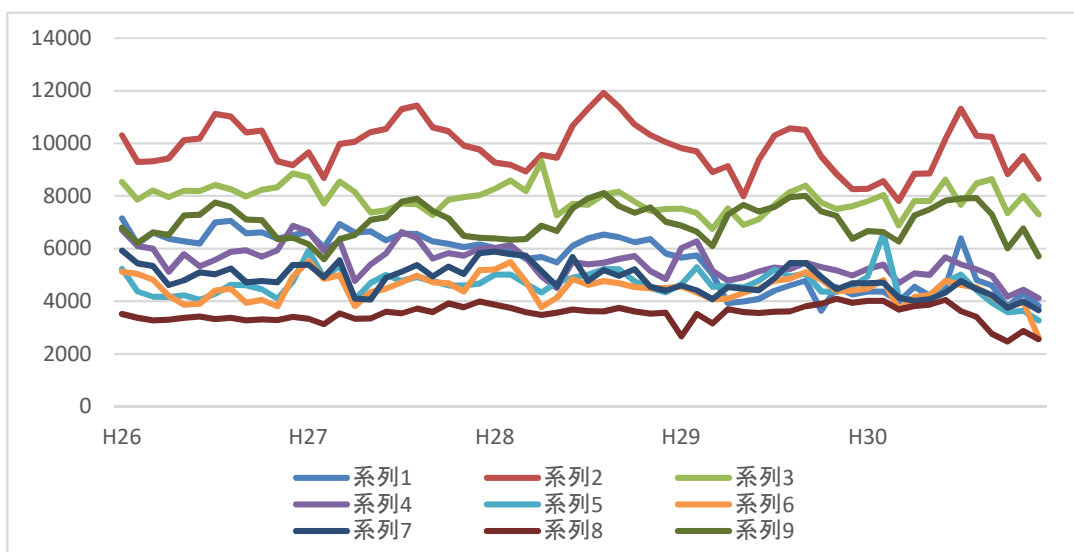
H29年9月の節水パイプメンテナンスを試験的に115箇所設置。
 節水パイプ取付後 9/4～10/11(37日間)節水効果＝7.1%
 11/20～12/26(36日間)節水効果＝8.7%
 今後節水パイプの契約に伴い初期投資と節減料金の比較検討が必要。

ロ) 電気使用量

【目的】
省エネ対策



直近5年(電気使用量)



コメント

新電力会社に替わり前年度の比較で使用量は下がっている。
今後LED照明レンタルでコスト削減

17. クラーク 医事課課長 中武 英之

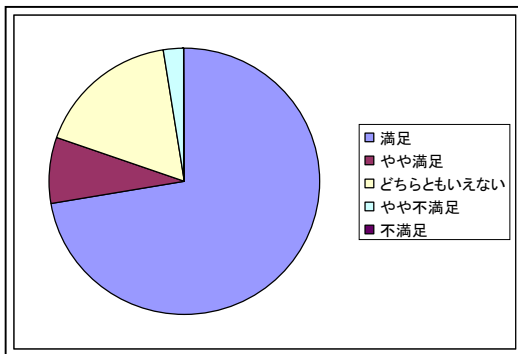
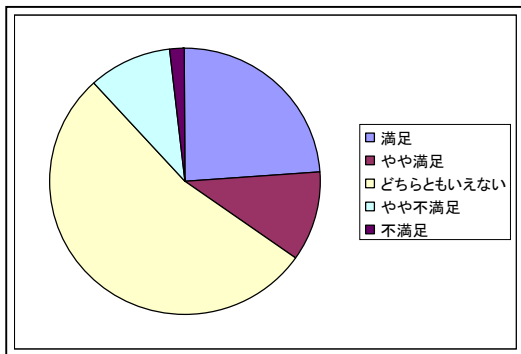
イ) 外来ゲスト満足度調査

期 間:平成29年1月1日～平成29年12月31日

対 象:外来

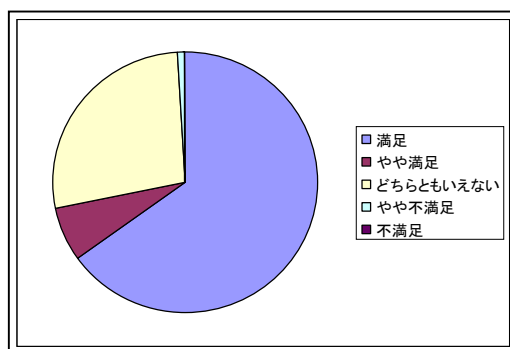
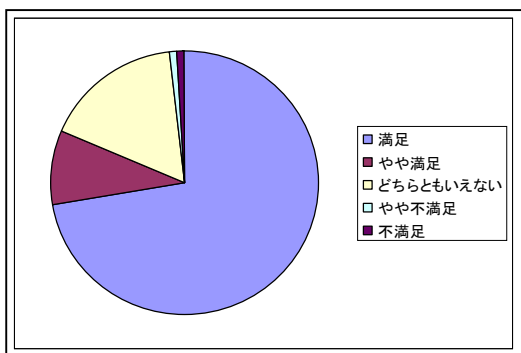
回答数:119名 前年139名

1.以前に比べて待ち時間はいかがですか？ 2.受付の対応はどうでしたか？



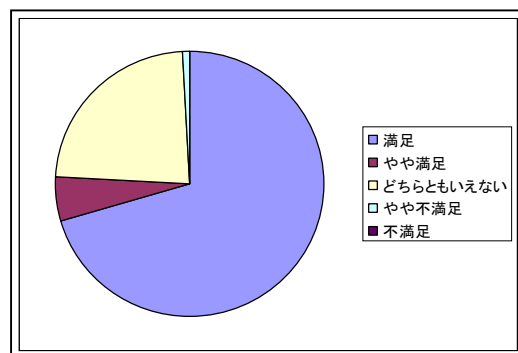
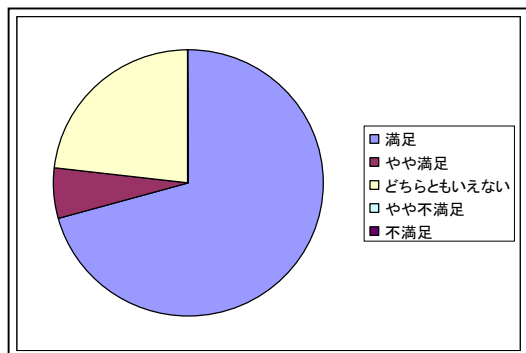
3.看護師の対応はどうでしたか？

4.個人情報の保護やプライバシーに関して
十分配慮されていますか？



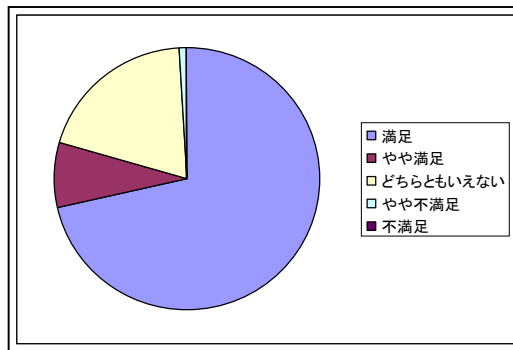
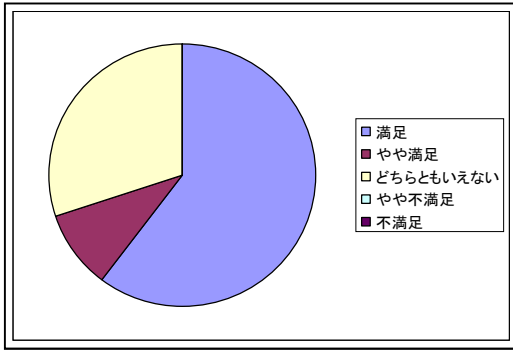
5.検査の際に不快に感じることは
ありませんか？

6.医師の診察時間の長さはいかがでしたか？

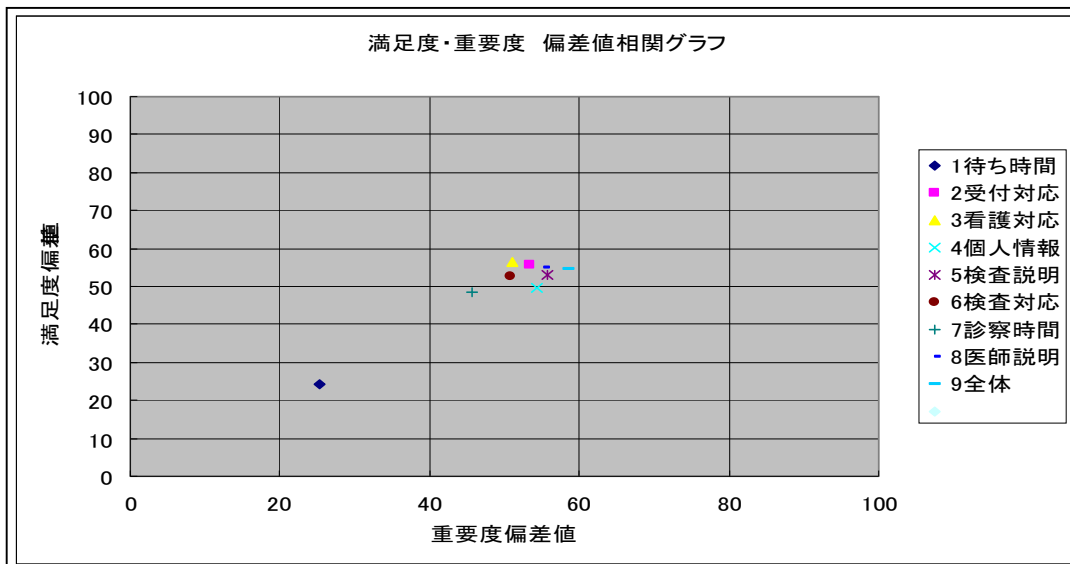
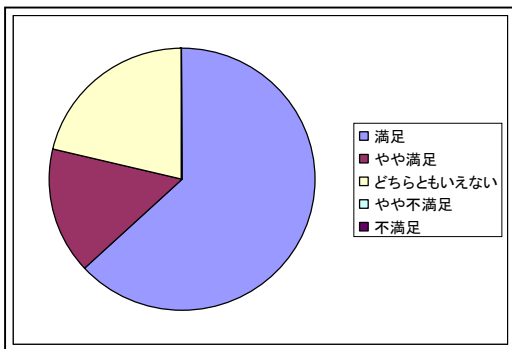


7. 医師より症状や治療計画について
分かりやすく説明を受けましたか？

8. 検査前の説明は十分にありましたか？



9. 当院の外来受診は満足いくものでしたか？



コメント

外来では個人情報に対して偏差値が高く満足度も低い結果となった。このことを踏まえ病院としてカルテ棚を患者さんから見えないようにカバーを掛けたり、スタッフ間の話の中で患者さんの個人名を出さないようスタッフには指導を行う。

ロ) 入院ゲスト満足度調査

期 間:平成29年1月1日～平成29年12月31日

対 象:全病棟

回答数:364名 前年410名

アンケート内容:

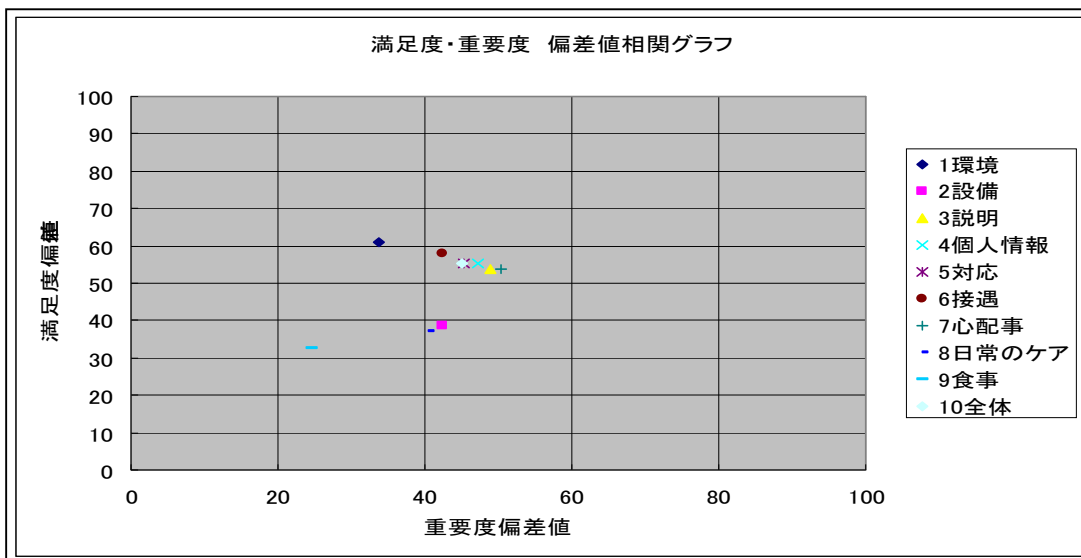
- 1.シーツやベッドは清潔に保たれていますか？
- 2.病室や浴室等は使いやすかったですか？
- 3.医師・職員より分かりやすい言葉等で納得できるまで十分な説明を受けていますか？
- 4.個人情報の保護やプライバシーに関して十分配慮されていますか？
- 5.医師・職員は、患者さんのつらい症状に速やかに対処しますか？
- 6.スタッフの接遇はいかがでしたか？
- 7.心配事があった場合、気軽に職員に相談しやすいですか？
- 8.入浴や排泄などの介助の際の対応はどうですか？
- 9.食事は満足しましたか？
- 10.受けられた診療や治療内容に満足されましたか？

アウトプットの見方

<p><第2象限> 満足度は高いが、 重要度は低い ⇒今の状態をキープ</p>	<p><第1象限> 満足度も高く、 重要度も高い ⇒優等項目</p>
<p><第3象限> 満足度は低い、 重要度も低い ⇒改善順位は低め</p>	<p><第4象限> 満足度は低く、 重要度は高い ⇒改善順位が最も高い</p>

3-4F

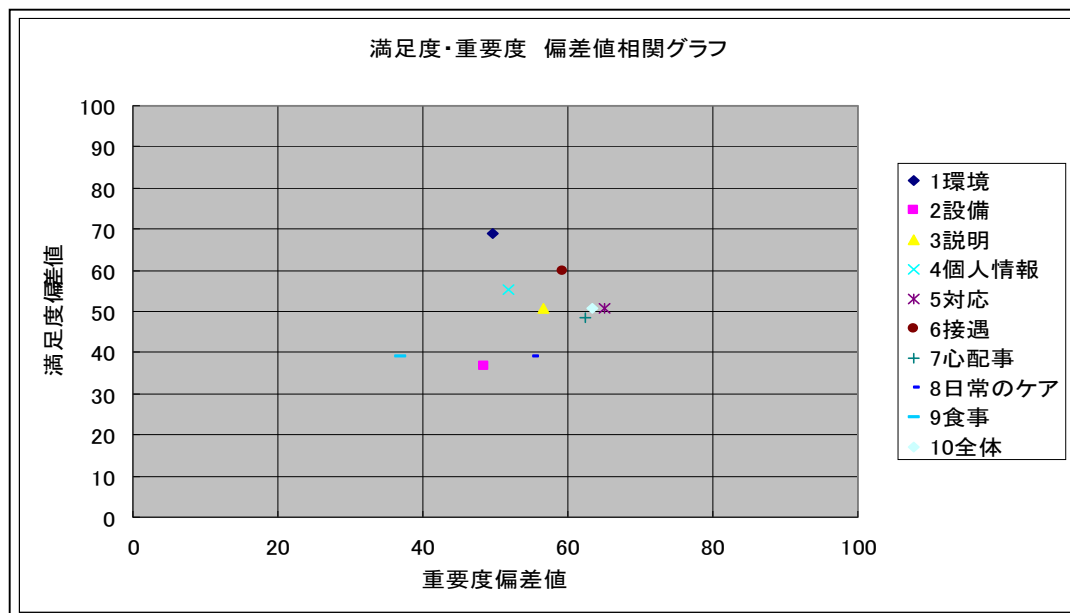
アンケート回収数:127人



心配事において高い偏差値となった。救急搬送からの入院が多い一般病棟では症状や予後などの説明を徹底していきたい。日常のケアに対しては満足度が低い結果となっているので転倒リスクや褥瘡発生率からケアに対して改善していきたい。

5F

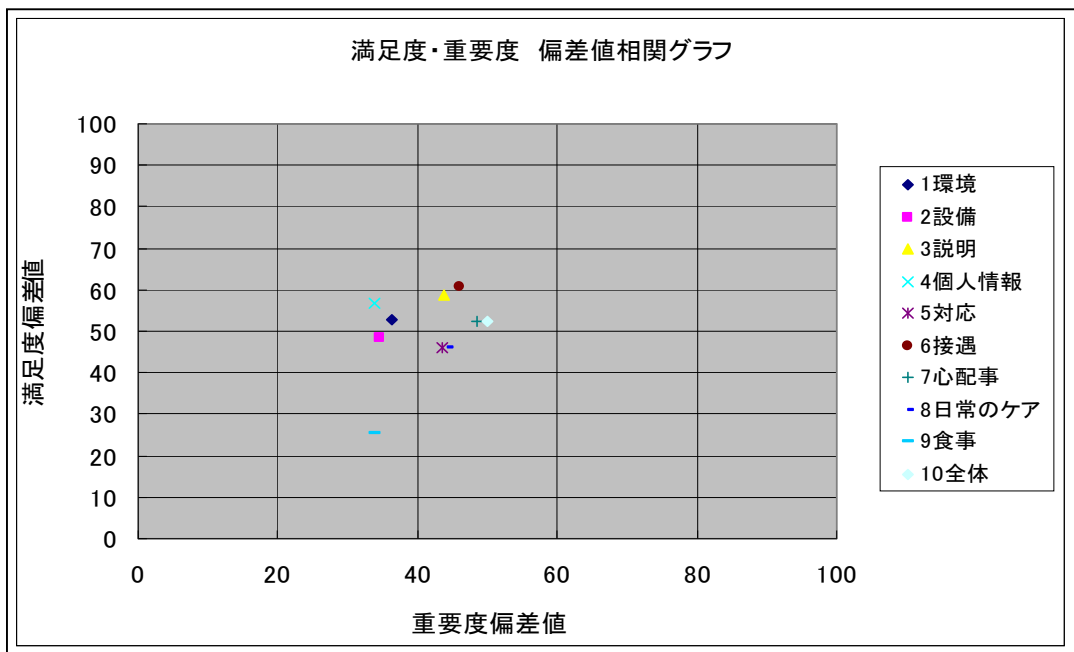
アンケート回収数:65人



対応が偏差値の高い結果となった。脳血管疾患の患者さんが多い回復期病棟では後遺症改善の為にリハビリが最も重要となるためリハビリスタッフに対して患者さんへの対応の再確認を行なった。また設備に対して満足度が低いため空調管理や物品の破損等ないか定期的な確認を行う体制を整備していく。

6F

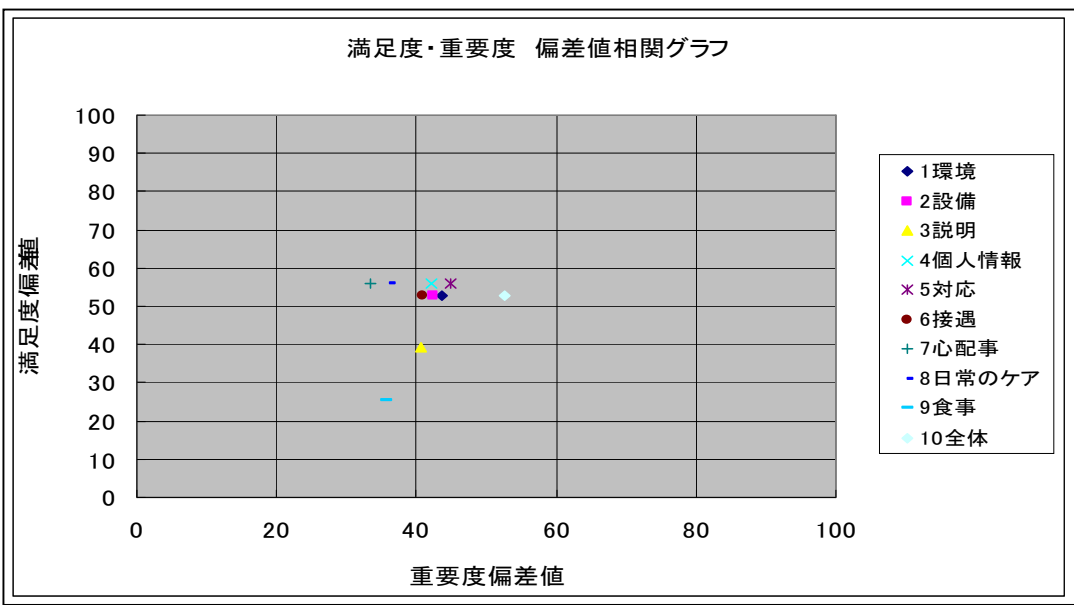
アンケート回収数:128人



全体的に平均化しているが食事においては極端に満足度の低い結果となっている。回復期の中でもある程度自立している患者さんが多いため退院に向けての食事提供を検討しなければいけない。

7F

アンケート回収数:44人



「全体」の項目で偏差値が高くなっている。がん患者さんが入院する病棟であり病気の症状を良くし気力・体力を回復させていくためすべてにおいて高い満足度が必要となる。ケア・食事・環境を再確認し、直接患者さんから要望の聞き取り調査を行っていきたい。

18.情報統計部 医事課課長 中武 英之

イ) 再入院率

【目的】

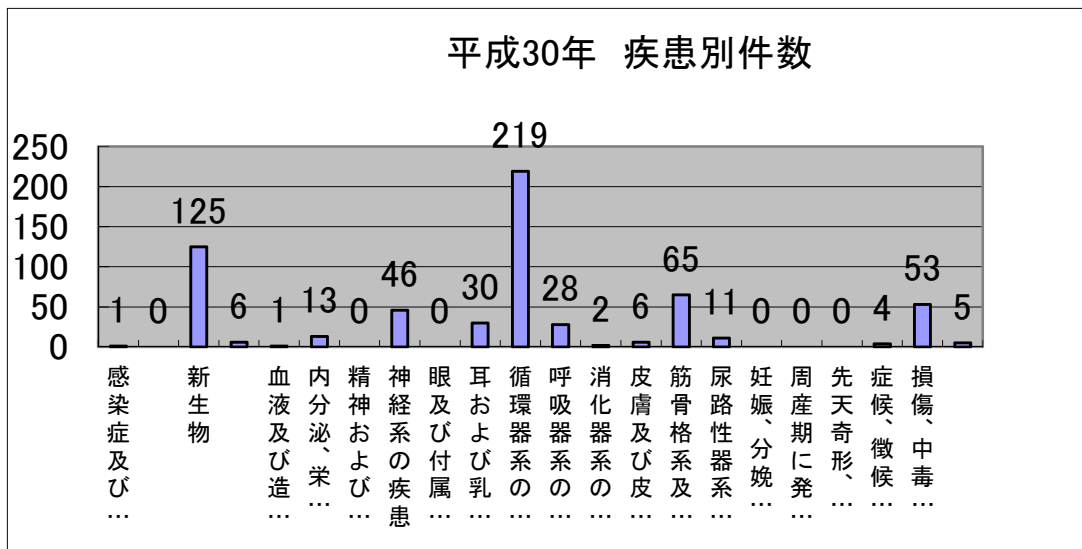
当院の医療の質を評価する指標とするため。

コメント

ロ) 国際疾病分類別

【目的】

当院に入院される方の疾病傾向を知り、医療の質の評価に活用するため。



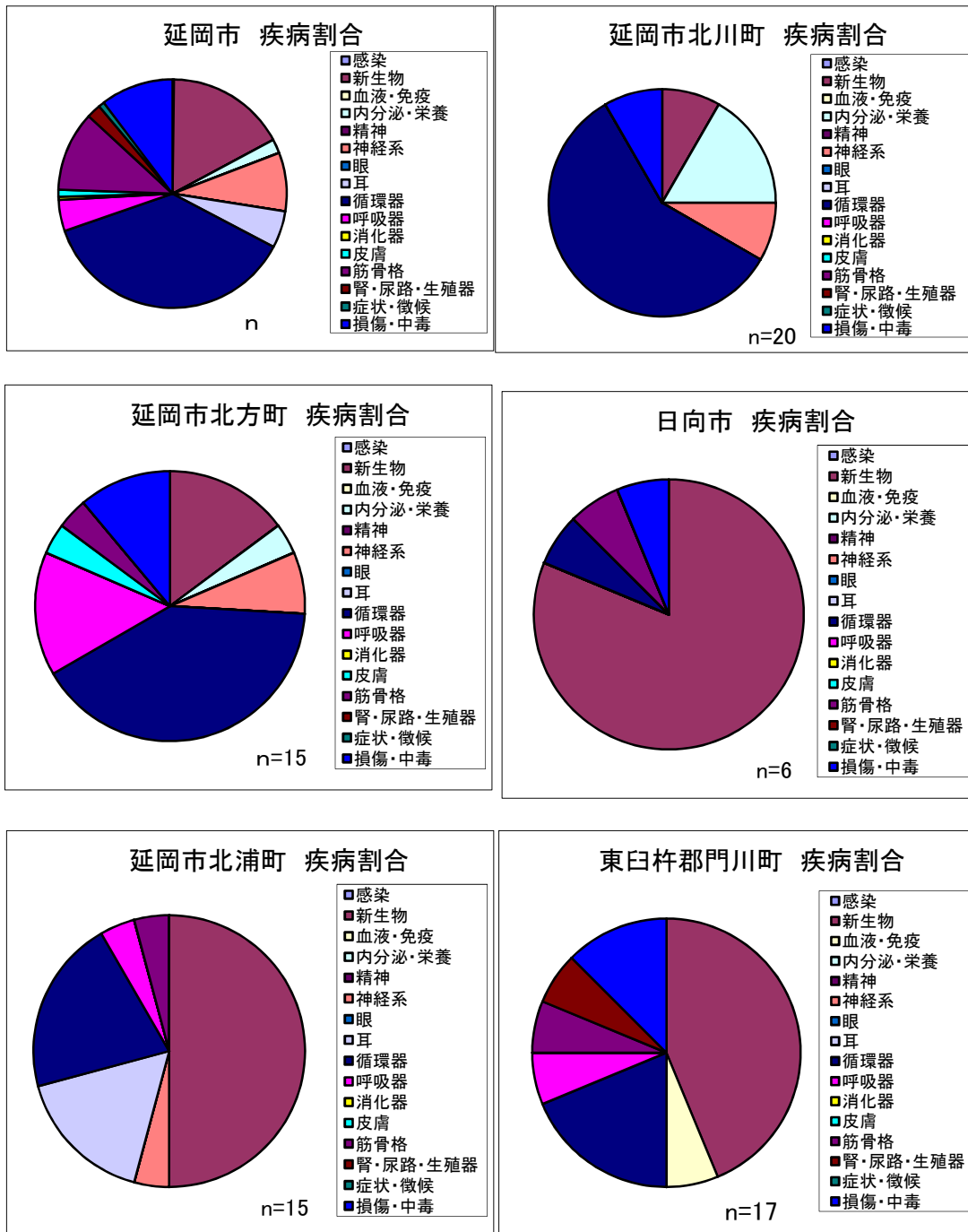
コメント

脳卒中輪番を行っている為、循環器系の疾患が最も多く、全体の3割を占めている。緩和ケア病棟がある為、全体の2割が新生物の疾患となっている。また、他医からリハビリ目的の紹介が増えた為、筋骨格系・損傷の疾患も増えてきている。この傾向は前年度と同様である。

ハ) 地域別国際疾病分類

【目的】

高速道路に近い立地が、医療圏に影響があるかを考察する。



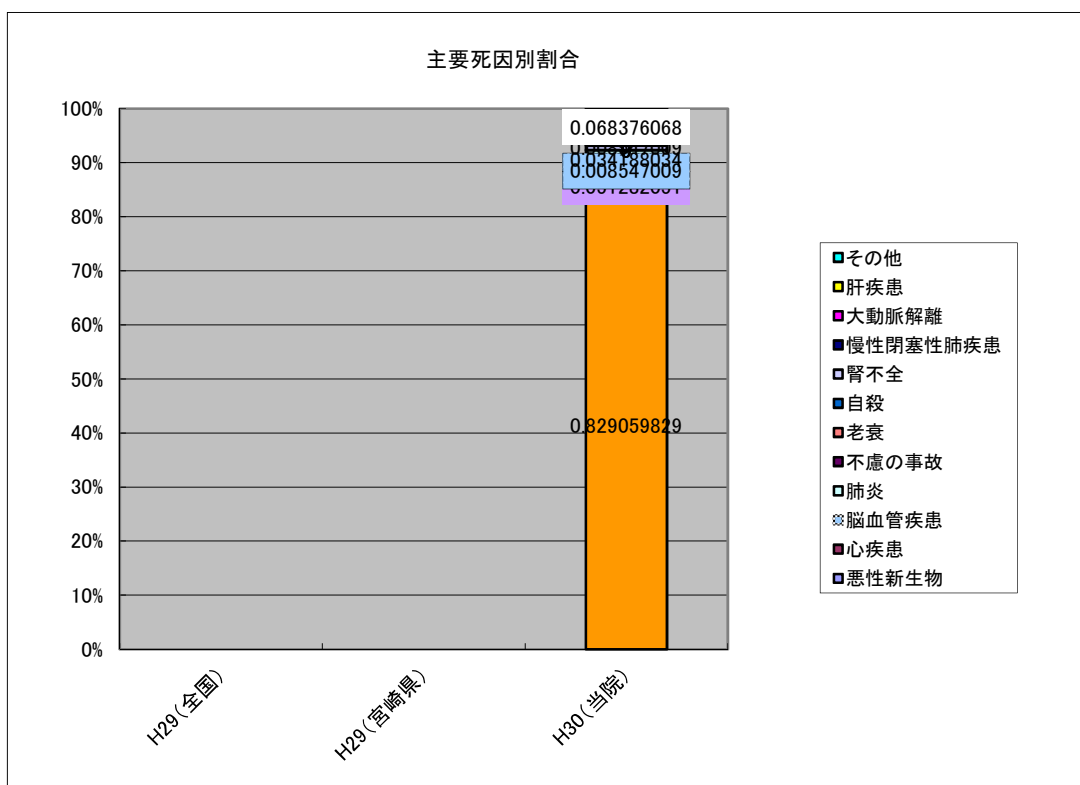
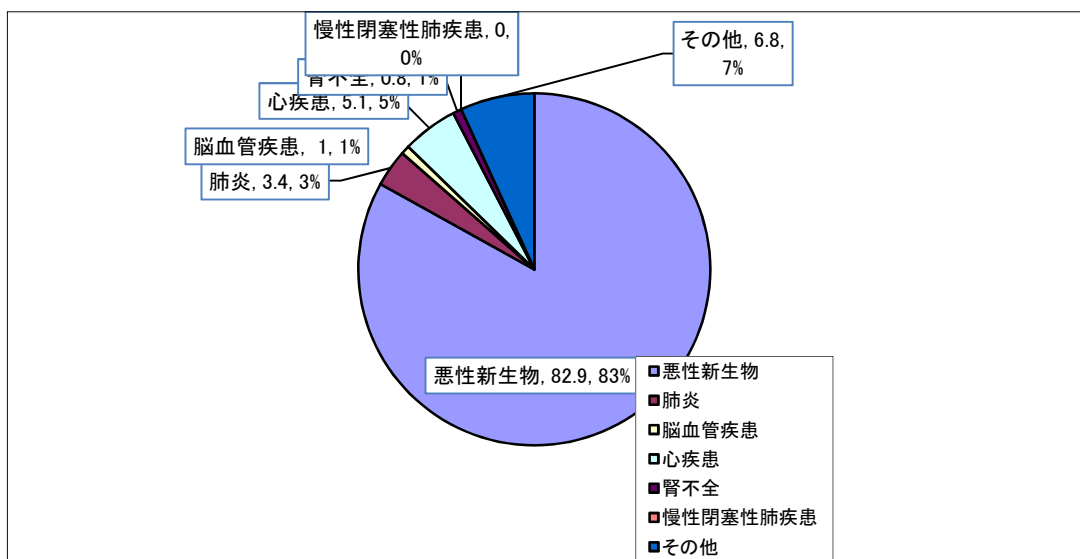
コメント

脳卒中輪番のトリアージの為、北浦町、北川町、北方町から搬送され、入院となるケースが増加傾向にある。また、日向市、門川町、北浦町から緩和ケア目的に入院される方も増加している。高速道路の整備により、40分以内での行き来が可能となり利便性が増した為と考えられる。

二) 死因別割合

【目的】

当院の死因別死亡数の割合を知る為



コメント

当院では死因の8割以上を悪性新生物が占めている。この傾向は年々増加傾向にある。緩和ケアの利用が増加している為と思われる。全国、宮崎県と比較してみると、明らかな違いである。

9. 経営管理

事務長 高見 広樹

病院を運営することも企業活動と同じ経営という側面があることに直視しなければなりません。医療はとかく「赤ひげ」とか「そろばん」などと、経営を医師が行なうことを蔑んで揶揄されることもありますが、現在の「医は仁術」として成り立たせる為にも経営の安定は欠かせない要因です。しかし、経営を優先するが余り、医療がその本質より外れては意味がありませんが、逆にその本質より外れない医療を行なう為にも、経営を安定させることが、経営のための運営にならない医療を行なう上で、重要と考えています。例えば必要のない検査や投薬・入院費などを強要しない経営が大切です。

イ) 決算公告

第41期決算公告		宮崎県延岡市土々呂町4丁目4390番地16	
		医療法人 久康会	
		理事長	平田 耕太郎
貸借対照表の要旨 (平成30年3月31日現在)		損益計算書の要旨 〔自 平成29年4月 1日 至 平成30年3月31日〕	
(単位:万円)		(単位:万円)	
資 産 の 部		負 債 の 部	
流 動 資 産	77,259	流 動 負 債	65,062
現金及び預金	41,223	固 定 負 債	206,687
保険未収入金	31,520	長期借入金	191,398
その他の	4,516	その他の	15,289
固 定 資 産	260,476	負 債 合 計	271,749
有形固定資産	252,363	資 本 の 部	
建物	150,600	資 本 金	500
土地	63,711	別 途 積 立 金	0
その他の	38,052	当 期 未 処 分 利 益	65,486
無形固定資産	1,640	(うち当期利益)	15,543
投資その他の資産	6,473	資 本 合 計	65,986
資 産 合 計	337,735	負 債 及 び 資 本 合 計	337,735
		営 業 収 益	193,400
		営 業 費 用	179,063
		営 業 利 益	14,337
		営 業 外 収 益	4,473
		営 業 外 費 用	3,251
		経 常 利 益	15,559
		税 引 前 当 期 純 利 益	15,559
		法人税、住民税及び事業税	0
		当 期 純 利 益	15,559
		前 期 繰 越 利 益	49,943
		当 期 未 処 分 利 益	65,502

ロ) 給与費 人件費率 医業利益率

【目的】

安定的な経営を継続するために、支出の大半を占める人件費の推移をモニタリング・分析するため

